

一般質問

◆◆◆◆◆
安里 周作 議員



拠点産地品目はどうなっている

質 拠点産地品目の種類、生産目標と最高生産量売上は。

答 農林水産課長 宮平 寛

拠点産地品目は8種類です。農産物で小菊、ドラセナ類、パッションフルーツ、アテモヤ、観葉鉢物が農産物の5種類です。水産物はモズク、アーサ、海ぶどうの3品目が認定されている。

農産物	小菊	ドラセナ	パッションフルーツ	アテモヤ	観葉鉢物
認定時生産目標値	18,495,000本	3,933,000本	112トン	48トン	42,000本
過去最高生産量	16,779,000本	4,402,000本	27トン	24トン	24,000本
過去最高売上(千円)	654,381	168,112	48,784	49,004	72,876

水産物	モズク	アーサ	海ぶどう
認定時生産目標値	2,200トン	70トン	80トン
過去最高生産量	1,583トン	49.5トン	50.2トン
過去最高売上(千円)	415,290	42,595	150,667

質 現在、拠点産地品目の従事者は。

答 農林水産課長 宮平 寛

小菊33名、ドラセナ類79名、パッションフルーツ44名、アテモヤ66名、観葉鉢物12名、モズク89名、アーサ5名、海ぶどう77名です。(出荷名簿による)

質 拠点産地品目の令和2年度に落ち込んだ品目の原因は。

答 農林水産課長 宮平 寛

落ち込んだ品目は、小菊金額約

5千万円の減で、ドラセナ類1千50万円の減、パッションフルーツ2百40万円の減、アテモヤ1百万円が減です。落ち込んだ品目の原因は、小菊ドラセナ類は、催事またイベントの開催自粛、縮小による需要減少が大きいと考えています。パッションフルーツアテモヤは、昨年末に天候不良がありました。観光客の減少も原因の一つです。海ぶどうが約4千万円の減、前年度比50%です。観光産業の落ち込み、飲食店の時短営業も影響しています。

質 コロナ禍後の販路拡大の考え方は。

答 農林水産課長 宮平 寛

地産地消推進を目的に「地域おこし協力隊」を配置して、おんなの駅を中心に活動しています。ネット販売を強化し移動販売をし販路確保に努めている。

こんなこともSDGsに繋がっている

質 漁協で海ぶどうの販路拡大のための輸送方法、改善に取り組んでいる。その協力が必要と思うが当局の考えは。

答 農林水産課長 宮平 寛

具体的な要望は上がっていません。漁協の要望も確認し、今後協力していきたい。

質 SDGsの、2030年のあるべき姿に、農業も取り組むべきだと思うが考えは。

答 企画課長 喜久山 隆

一次産業は重要です。第3次観光振興計画では、土産品における村内からの調達の低さが課題としています。それで、ブランド確立と計画的安定に出荷できる産地形成が必要で、この指標もどのタイミングで入れていくかを検討しています。うんな中学校でも、商品開発プロジェクトがスタートしています。

何度も質問された高校通学費支援

質 第2弾コロナの支援で、高校通学費助成の考えはないか。

答 学校教育課長 仲村泰弘

第2弾コロナ禍高校生支援策は予定はございません。教育総合会議においても継続して審議を重ね、制度設計に取り組んでいければと考えています。

◆◆◆◆◆
吉山盛次郎 議員



東京オリンピック開催によるアルゼンチン代表(ラグビー競技)合宿受入について

質 他府県でも合宿返上が見受けられる。国内感染の不安で相手国からの中止があった。村はどのような対応をなさるのか。

答 村長 長浜善巳

村としては受入れ方針は変えず、新型コロナウイルス感染拡大防止策のガイドラインを徹底し、事前合宿の遂行に遵守していきたい。

質 住民の安全・安心は守られますか。

答 村長 長浜善巳

バブル方式という外部とは一切接触しない方法で会場を移動する。ワクチン接種ですが、その日程とは合わないような形で進めている。

質 村民の安心・安全を守るのが、村長の役目です。なぜあえて、このような事前合宿を受け入れる。そのメリットは何ですか。

答 村長 長浜善巳

当初の目的は友好交流、国際親善、子どもたちに夢と希望を与えたいという思いで始まっており、信頼関係に基づいてスタートしており、アルゼンチンの思いを酌んでやらなければいけない。

中学生における学業成績、学習評価の男女格差について

質 現状について。

答 学校教育課長 仲村泰弘

現在、男女差の別に集計等は

行っておりません。

質 学業成績以外の評価についての所見は。

答 学校教育課長 仲村泰弘

学級担任や教科担任等が、子どもたちの学校生活や学習課程、学習成果等の積み重ねを捏出版物や授業等の中で、観察、評価しています。

質 学業評価が高校入試とその後的人生においての位置づけを学校と共有していますか。

答 学校教育課長 仲村泰弘

学業の評価は、その児童生徒の現在の成果や課題を表わしており、成果は成長につながり、課題は解決することで、成長につながります。各学校と共有しております。

SDGsに係る進捗状況について

質 SDGsは「目標」理念でもあり、環境問題をいかに解決に向けた持続可能な取組を行うのか。現状を伺います。

答 企画課長 喜久山 隆

グリーン・フィンズの導入を進めており、自然環境が保全されて、ダイビングを通して経験できる自

◆◆◆◆◆

答 企画課長 喜久山 隆

ダイビング協会は沿岸域のリーフエック、海域の環境保全に配慮したグリーン・フィンズの取り組み、他事業者は自然環境保全に関する活動に関心を持っていただく役割。商工会は、地域特産品等開発支援事業で農産物等の特産品の高付加価値化商品の開発を支援する事業。観光協会ではサンゴやSDGsを取り入れた観光プログラムが開発が進んでおります。

質 持続可能なサンゴ礁再生に向けた取組が村民の身近な共感、サンゴ村の中で、将来世代の育成と全員参加の社会の実現とうたわれています。これはどういう活動に結びついているのか。

答 企画課長 喜久山 隆

サンゴの保全に取り組むことにより、環境保全に関心を持っていただきたい。自然環境の保全がなぜ大切なのか、言語化、可視化して周知普及をできるよう努めています。

一般質問